

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

**This Page Blank (uspto)**

**CONTRACT SYSTEM AND CONTRACT METHOD**

Patent Number: JP7141422  
Publication date: 1995-06-02  
Inventor(s): KURATA NAOKO; others: 03  
Applicant(s):: HITACHI LTD  
Requested Patent: ☒ JP7141422  
Application Number: JP19930283048 19931112  
Priority Number(s):  
IPC Classification: G06F17/60  
EC Classification:  
Equivalents:

**Abstract**

**PURPOSE:** To promote a paperless contract activity by providing a means for writing contract contents and the handwritten data of a customer confirmation area into an IC card when handwritten input is performed in the customer confirmation area and the means for reading and displaying the contract contents and the handwritten data written in the IC card.

**CONSTITUTION:** A work station 12 for storing the data of customers and the format of a contract, etc., is installed in a business office 11 and a salesman takes the data required for a visit and a pen input computer 13 and visits a customer 14. When the contract is concluded, a temporary contract prepared on the screen of the pen input computer 13 is signed, the contract contents are recorded in the IC card 15 and it is handed over to the customer. When a personal computer 16 is present in his house, the customer can insert the IC card 15 and confirm the contract contents. In the meantime, the salesman transmits the contract contents to the work station 12 of the business office 11 as well by using radio or performs DB updating when the pen input computer is brought back.

Data supplied from the **esp@cenet** database - 12

This Page Blank (uspto)

E5569

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-141422

(43) 公開日 平成7年(1995)6月2日

(51) Int.Cl.<sup>9</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 6 F 17/60

8724-5L

G 0 6 F 15/ 21

3 3 0

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号

特願平5-283048

(22) 出願日

平成5年(1993)11月12日

(71) 出願人

000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者

倉田 奈穂子

神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株

式会社日立製作所システム開発研究所内

(72) 発明者

川岡 明宏

神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株

式会社日立製作所システム開発研究所内

(72) 発明者

田中 厚

神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株

式会社日立製作所システム開発研究所内

(74) 代理人

弁理士 小川 勝男

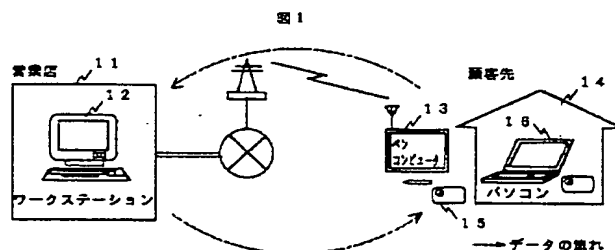
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 契約システム及び契約方法

(57) 【要約】

【目的】 契約活動のペーパーレス化を図り、効率を向上する契約システムの提供。

【構成】 手書き入力装置とICカードを用いた契約システムにおいて、契約内容が表示される契約画面の一部に特定の顧客確認領域を設け、手書き入力装置にICカードが挿入されているときにのみ特定の顧客確認領域を入力可能にする手段と、顧客確認領域に手書き入力されていれば、契約内容と顧客確認領域の手書きデータをICカードに書き込む手段とICカードに書き込まれている契約内容と手書きデータを読み込んで表示する手段を設けた。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】手書き入力装置と IC カードを用いた契約システムにおいて、契約内容が表示される契約画面の一部に特定の顧客確認領域を設け、手書き入力装置に IC カードが挿入されているときにのみ特定の顧客確認領域を入力可能にする手段と、顧客確認領域に手書き入力されていれば、契約内容と顧客確認領域の手書きデータを IC カードに書き込む手段と IC カードに書き込まれている契約内容と手書きデータを読み込んで表示する手段を設けたことを特徴とする契約システム。

【請求項 2】手書き入力装置に IC カードが挿入されたとき、IC カード内の暗証番号をチェックする手段を設けたこと特徴とする請求項 1 記載の契約システム。

【請求項 3】IC カードに契約内容と手書きデータを書き込むとき、契約商品のシミュレーションプログラムと一緒に書き込む手段を設けたことを特徴とする請求項 1 記載の契約システム。

【請求項 4】手書き入力装置に商品情報を選択する手段と、選択した商品情報を IC カードへ書き込む手段を設けたことを特徴とする請求項 1 記載の契約システム。

【請求項 5】手書き入力装置に入力した契約内容及び手書きデータをホストコンピュータに送信する手段と、ホストコンピュータからの契約書を受信し表示する手段を設け、

ホストコンピュータに手書き入力装置から送信されてきた契約内容と手書きデータを受信し表示する手段と、受信した契約内容から契約書を作成する手段と、契約書を手書き入力装置に送信する手段を付加したことを特徴とする請求項 1 記載の契約システム。

【請求項 6】手書き入力装置と IC カードを用いた契約システムにおいて、契約内容が表示されているとき、手書き入力装置に IC カードが挿入されたときのみに契約画面の一部に設けてある特定の顧客確認領域を入力可能にし、顧客確認領域に手書き入力されていれば、IC カードへの書き込み指示により契約内容と顧客確認領域の手書きデータを IC カードに書き込み、契約内容確認指示により IC カードに書き込まれている契約内容と手書きデータを読み込んで表示することを特徴とする契約方法。

【請求項 7】手書き入力装置に IC カードが挿入されたとき、IC カード内の暗証番号をチェックし、OKであれば契約画面の一部に設けてある特定の顧客確認領域を入力可能にすることを特徴とする請求項 6 記載の契約方法。

【請求項 8】IC カードに契約内容と手書きデータを書き込むとき、契約商品のシミュレーションプログラムと一緒に書き込むことを特徴とする請求項 6 記載の契約方法。

【請求項 9】手書き入力装置で商品情報を選択すると、選択した商品情報を IC カードへ書き込むことを特徴と

する請求項 6 記載の契約方法。

【請求項 10】手書き入力装置で少なくとも入力した契約内容及び手書きデータをホストコンピュータに送信し、ホストコンピュータで手書き入力装置から送信されてきた契約内容と手書きデータを受信し、受信した契約内容から契約書を作成し、契約書を手書き入力装置に送信し、手書き入力装置でホストコンピュータから送信されてきた契約書を受信し表示する過程が付加されたことを特徴とする請求項 6 記載の契約方法。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、訪問先での契約方法に係り、特に契約活動の効率を向上する契約方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の契約方法は、保険の外交に代表されるように、まず外交員が標準の提案書を持ってお客の所に行き説明をする。この時、お客の納得する条件を聞き出し、次回に、その内容に合った提案書を持っていく。お客の気持ちが変わらなければその内容で契約書の作成を行なう。お客の気持ちが変わっていれば、修正した提案書を持っていく作業を繰り返す。

【0003】最近では、ノートパソコンを持ち歩く外交員も増え、最初の段階でいろんなプランをシミュレートして見せることもやっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記述べた契約方法では、契約成立までの訪問回数が多い、また商品案内、提案書、契約書など持ち歩くペーパーが多く外交員の負担が大きいという問題がある。契約成立までに時間がかかるのは、外交員との対応者が決定権を持っていないとか、後で考えると条件が合わないというケースがある。

【0005】本発明の目的とするところは、契約活動のペーパーレス化を図ると共に、契約者自身が様々な条件での試行錯誤を可能にし、契約までの期間を短縮することにある。また、ペーパーレス化したときの不正契約の防止も考慮する必要がある。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明によれば、手書き入力装置と IC カードを用いた契約システムにおいて、契約内容が表示される契約画面の一部に特定の顧客確認領域を設け、手書き入力装置に IC カードが挿入されているときにのみ特定の顧客確認領域を入力可能にする手段と、顧客確認領域に手書き入力されていれば、契約内容と顧客確認領域の手書きデータを IC カードに書き込む手段と IC カードに書き込まれている契約内容と手書きデータを読み込んで表示する手段を設け、IC カードに契約内容と手書きデータを書き込むとき、契約商品のシミュレーションプログラ

ムと一緒に書き込む手段を設けることで実現できる。

【0007】

【作用】外交員が手書き入力装置を使って示した契約内容でお客が納得すれば、手書き入力装置にICカードを挿入し、契約画面の一部に設けてある顧客確認領域に専用ペンで仮契約としてサインしてもらい、ICカード書き込み手段により契約内容と顧客確認領域の手書きデータ及び契約商品のシミュレーションプログラムをICカードに書き込む。外交員は帰店後、お客のサインがある契約画面を上司に見せ承認をもらい契約書の作成を行う。お客は自宅のパソコンにICカードを差し込み、契約内容を確認したり別の条件を入力しシミュレートして見る。外交員が次回訪問した際変更が無ければ、ICカードを手書き入力装置に挿入し、ICカード読みだし手段によりICカードに書き込まれている契約内容と手書きデータを読み込んで表示し契約書と内容の整合をチェックする。OKであれば、必要事項を記入、押印してもらう。もし、変更があった場合には、上記手順を繰り返す。

【0008】これにより、契約活動のペーパーレス化を図れる共に、契約者自身が様々な条件で試行錯誤することが可能になり、契約までの期間を短縮できる。また、ペーパーレス化したときの不正契約の防止も可能になる。

【0009】

【実施例】以下、図面を用いて本発明の実施例を詳細に説明する。

【0010】以下の実施例において、保険の外交員がペン入力コンピュータを持って家庭を訪問し、契約を行うことを想定する。

【0011】図1は本発明を利用した訪問活動の環境を説明する図である。営業店11には顧客のデータや契約書のフォーマット等が記憶されているワークステーション12が設置されている。外交員が訪問に必要なデータとペン入力コンピュータ13を持って顧客先14を訪問する。契約が成立すれば、ペン入力コンピュータ13画面上に用意した仮契約書にサインをもらい、契約内容をICカード15に記録し顧客に渡す。顧客は自宅にパソコン16があれば、ICカード15を差し込んで契約内容の確認ができる。一方外交員は無線を用いて営業店11のワークステーション12にも契約内容を送信し、あるいはペン入力コンピュータを持ち帰ったとき、DB更新を行う。

【0012】図2に本発明を利用した契約方法の一実施例を示す。外交員はペン入力コンピュータ13を持って訪問活動を行う。訪問先でペン入力コンピュータ13を利用したシミュレーションや契約内容の提示で顧客に商品の提案を行う(①)。顧客が納得すれば仮契約を行い(②)、ICカード15に契約内容及びシミュレーションプログラムを書き込み顧客に渡す。外交員は契約の記

録を営業店に持ち帰り、顧客のサインの入った契約画面を上司に見せて承認をもらい(③)、契約書を作成する(④)。一方契約者は自宅のパソコンにICカード15を挿入し、契約内容を確認したり(⑤)別の条件でシミュレートして見る(⑥)。次回訪問の際、仮契約内容に基づいて営業店で作成した契約書と前回顧客に渡したICカードに記憶されている仮契約書の内容の整合性をチェックし(⑦)、内容が正しく、変更の希望がなければ契約書に必要事項を記入、押印してもらう(⑧)。仮契約書の作成は外交員が帰店後に作成し、再度訪問し、以後上記と同じ手順をとるものとしても良い。

【0013】図13に本発明を利用した契約方法の第二の実施例を示す。これは図1で説明した訪問活動における契約の方法を示している。外交員はペン入力コンピュータ13を持って訪問活動を行う。訪問先でペン入力コンピュータ13を利用したシミュレーションや契約内容の提示で顧客に商品の提案を行う(①)。顧客が契約条件に合意したならば(②)、無線を用いて契約内容を営業店に送信する。営業店で契約内容を上司に報告し承認を得て(③)、顧客が合意した契約内容に基づいて仮契約書を作成し(④)、無線によりペン入力コンピュータ13に送信する。外交員は送られてきた仮契約書と顧客が合意した契約内容の整合性をチェックし(⑤)、内容が正しく、変更の希望がなければ仮契約書に必要事項を記入、押印してもらう(⑥)。帰店後、本契約書を顧客に郵送する(⑦)。顧客は契約書に必要事項を記入、押印して返送する(⑧)。この場合でも、仮契約書の作成は外交員が帰店後に作成し、再度訪問し、以後上記と同じ手順をとるものとしても良い。

【0014】以上のようにペン入力コンピュータ13に訪問に必要な情報を登録して訪問活動を行うことで訪問活動のペーパーレス化を図れる。特に図2では契約内容及びシミュレーションプログラムを記憶させたICカード15を顧客に渡すことで契約者自身が様々な条件で試行錯誤可能になる。また、図13では無線を用いてその場で契約内容を営業店に送る場合には、帰店後すぐに契約書の作成ができ、書類作成時間の短縮につながる。

【0015】以下実施例は第一の契約方法を仮定して説明する。

【0016】図3にシステム構成図を示す。31は中央処理装置、32はメモリ、33は記憶装置、34はディスプレイ、35はタブレット、36は専用の入力ペン、37はICカードリーダー、15はICカードである。

【0017】図4はペン入力コンピュータ13の処理手順を表すフロー図の一例である。まず画面より商品が選択される(ステップ41)。顧客の希望に合うようにシミュレーション、契約内容の表示(ステップ42)を行う。その条件で契約するかどうかを判定し(ステップ43)、NOならばシミュレーション、契約内容の表示を繰り返す。OKならば仮契約のためにICカード15の

挿入待ち(ステップ44)をする。ICカード15が挿入されると、画面上に設けた特定の領域が入力可能になる(ステップ45)。これでその領域に顧客のサインが入力できるようになる。顧客サインの受付(ステップ46)、ICカード15への書き込み指示を受け付ける

(ステップ47)。仮契約内容と顧客確認領域の手書きデータ及びシミュレーションプログラムをICカード15に書き込む(ステップ48)。記憶装置33にも仮契約内容と顧客確認領域の手書きデータを書き込んで(ステップ49)処理を終了する。

【0018】図5に訪問先での操作手順を示す。(a)に外交員側の操作例を、(b)に顧客側の操作例を示す。それぞれの操作を仮契約までの経過に従い説明する。まず外交員はペン入力コンピュータ13を用いて提案(ステップ51a)を行う。それに対し顧客は内容の検討(ステップ51b)を行う。今の提案で仮契約を行うかどうかにより(ステップ52a)、NOならば提案(ステップ51a)を繰り返し、セールスを中止する場合は操作を終了する。顧客が納得すればペン入力コンピュータ13上に仮契約書を提示(ステップ53a)する。顧客はICカードリーダー37にICカード15を挿入(ステップ52b)し、専用ペン36を用いてサインを入力(ステップ53b)する。外交員が契約内容の書き込み指示(ステップ54a)を行うとICカード15に情報が書き込まれる。最後に外交員がカードの返却(ステップ55a)をして、顧客がカードを受け取る(ステップ53b)。

【0019】このようにICカードを挿入しないと特定の領域を画面上に設けることで、ペーパーレス化した際の不正契約の防止が可能になる。

【0020】図6は本発明を利用した提案書(仮契約書)の表示例である。(a)は商品の提案を行っているときの画面である。商品の契約内容を示した提案書61の中に設けられている顧客確認領域62は、ICカード15を挿入していないと書き込みが不可である。(b)は仮契約条件の合意がされた時の画面である。このようにICカード15が挿入されると顧客確認領域62は入力が可能になる。

【0021】図14はICカードへの仮契約内容書き込み指示画面である。メニューから書き込みを選択するとカードへの書き込みを開始する。

【0022】図7は契約の不正防止のためのICカード15の暗証番号確認手順である。まずカードの正当性チェック(ステップ71)を行い、暗証番号を入力(ステップ72)する。ICカード15に記憶されている番号とのチェック(ステップ73)を行い、NGならばカードを排出(ステップ74)する。OKならば暗証番号の確認を終了する。

【0023】図8には暗証番号の入力画面の例を示す。暗証番号入力域81とソフトテンキーボード82を画面

に出力し、専用ペン36を用いて暗証番号を入力する。このようにICカードに暗証番号を付けて取引時照合を行うことで不正使用が防止できる。

【0024】商品情報の登録操作の画面例を図9に示す。商品情報の一覧が表示されている画面91から希望する商品を選択し、「書き込み」92を押すと、ICカード15にその商品の案内が書き込まれる。その後カードを顧客に返却する。顧客は自宅のパソコン16にICカード15を入れて選択すると商品案内を見ることが出来、新しい商品購入の検討を行うことができる。

【0025】図10はICカードデータの読み込み方法のフロー図である。外交員が仮契約をした顧客先に契約書を持って訪問し、仮契約内容と、営業店にて作成した契約書の内容をチェックすることを想定する。ICカードリーダー37にICカード15を挿入(ステップ101)する。カードの正当性をチェック(ステップ102)する。データをメモリ32に読み込み(ステップ103)、画面上にデータを表示(ステップ104)する。

【0026】仮契約時に取決めた内容をICカードから読み込み、顧客のサイン入りで確認できるので、契約内容の書き換えなどの不正を防止でき、顧客に安心感を与えることができる。

【0027】図11に記憶装置33内のメモリ構成を示す。商品n個、顧客m名に対する情報が記憶されている(111)。商品については契約書のフォーマット(112)、シミュレーションプログラム(113)、商品案内(114)が記憶されている。顧客については顧客に提案した商品を識別する番号(115)と契約書の入力データ(116)、手書き入力データ(117)が記憶されている。

【0028】図12はICカード15内のメモリ構成を示す。カード属性情報(121)に続いて商品番号(122)とその商品に関するデータが記憶される。データは契約書の入力データ(123)、手書きデータ(124)、契約書のフォーマット(125)、シミュレーションプログラム(126)からなる。その他、商品案内(127)があれば商品番号に対応して記憶される。

【0029】以上の実施例でわかるように契約活動のペーパーレス化を図れると共に、シミュレーションプログラムを記憶させたICカードを契約者に持たせることで契約者自身が様々な条件で試行錯誤可能になり、契約までの期間を短縮できる。また、ICカード挿入時のみアクセス可能な顧客確認領域や、暗証番号をチェックする機能を持たせることで、ペーパーレス化したときの不正契約の防止も可能になる。

【0030】

【発明の効果】これまで述べてきたように本発明によれば、契約活動のペーパーレス化を図れると共に、契約者自身が様々な条件で試行錯誤可能になり契約までの期間



を短縮でき、また、ペーパーレス化したときの不正契約の防止も可能な契約方法及びシステムを提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の一実施例である訪問活動方法を示す図である。

【図 2】 本発明の一実施例である契約方法を示す図である。

【図 3】 本発明の一実施例のシステム構成を示すブロック図である。

【図 4】 本発明の一実施例であるペン入力コンピュータの処理手順を示すフロー図である。

【図 5】 本発明の一実施例である訪問先での操作手順を示すフロー図である。

【図 6】 本発明の一実施例である仮契約書の画面である。

【図 7】 本発明の一実施例である暗証番号確認処理の手順を示すフロー図である。

【図 8】 本発明の一実施例である暗証番号入力の画面で

ある。

【図 9】 本発明の一実施例である商品選択の画面である。

【図 10】 本発明の一実施例である IC カードデータ読み込み方法を示すフロー図である。

【図 11】 本発明の一実施例である記憶装置内のメモリ構成を示す図である。

【図 12】 本発明の一実施例である IC カード内のメモリ構成を示す図である。

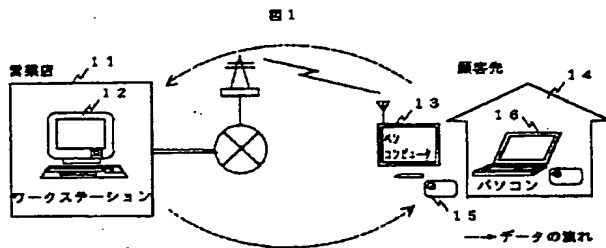
【図 13】 本発明の一実施例である契約方法の別の方法を示す図である。

【図 14】 本発明の一実施例である IC カードへの書き込み指示の画面である。

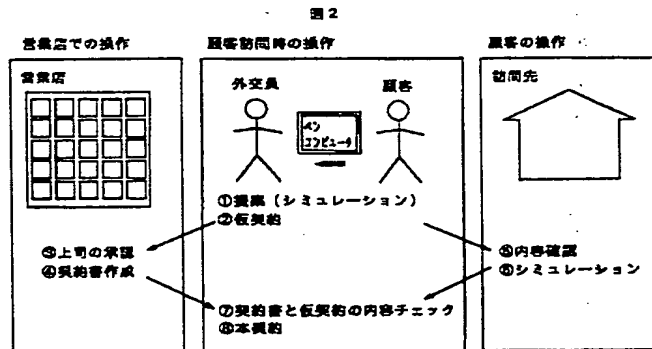
【符号の説明】

31…中央処理装置、32…メモリ、33…記憶装置、34…ディスプレイ、35…タブレット、36…専用の入力ペン、37…IC カードリーダー、15…IC カード。

【図 1】

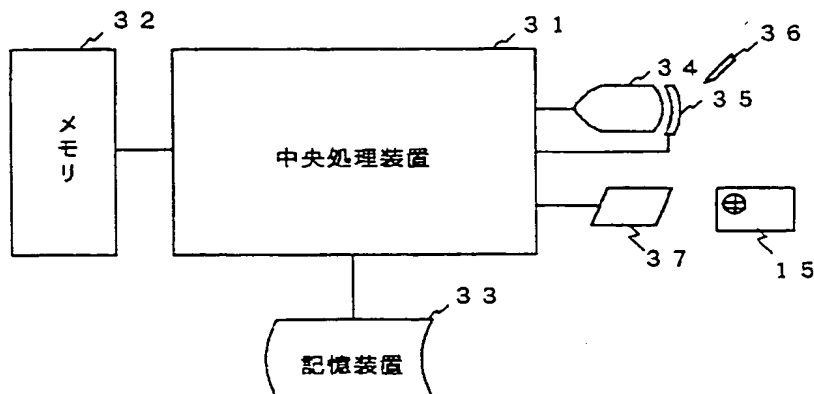


【図 2】



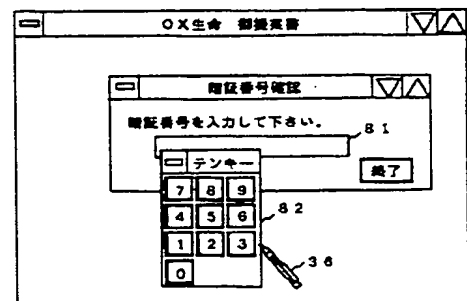
【図 3】

図 3



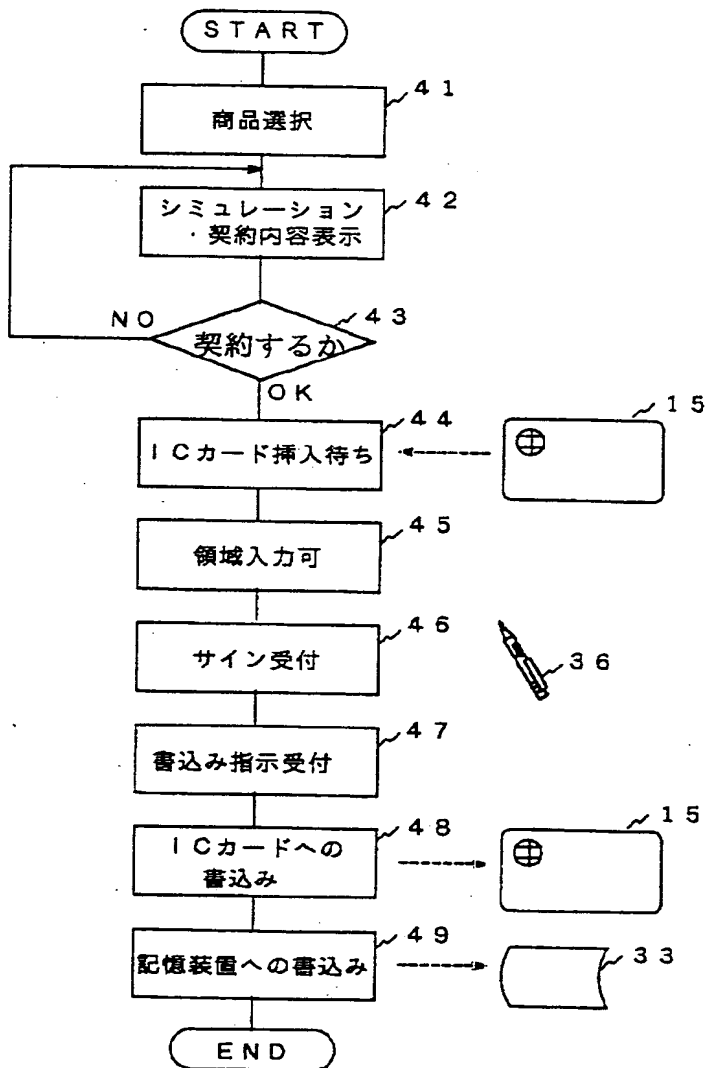
【図 8】

図 8



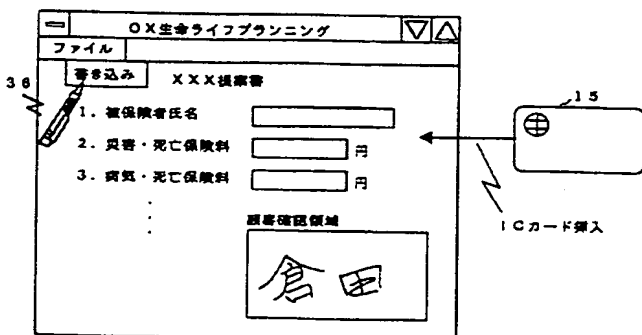
【図4】

図4



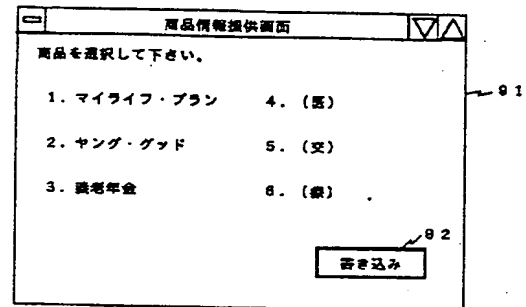
【図14】

図14



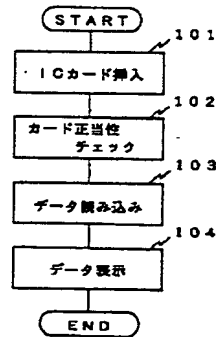
【図9】

図9



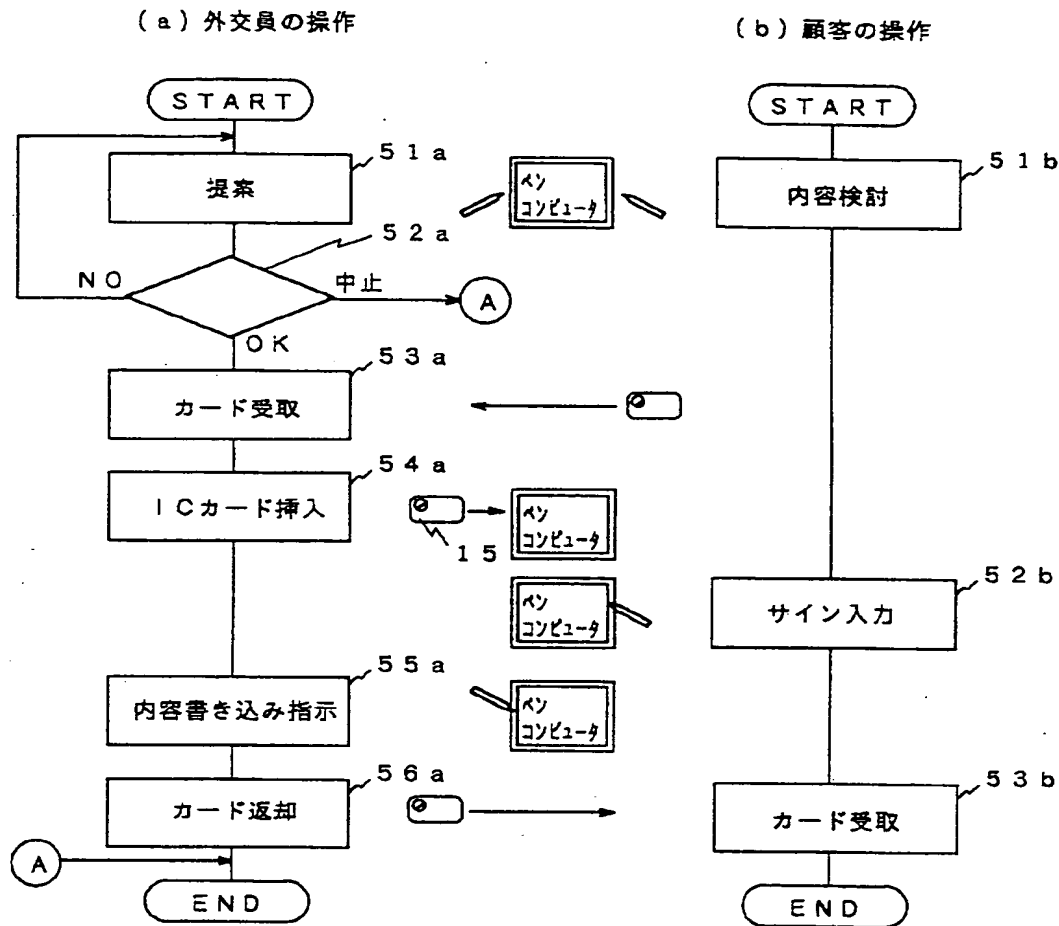
【図10】

図10



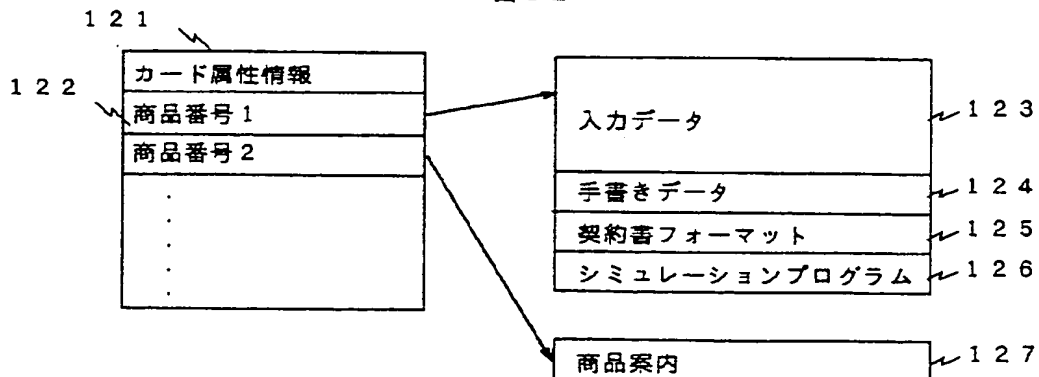
【図5】

図5



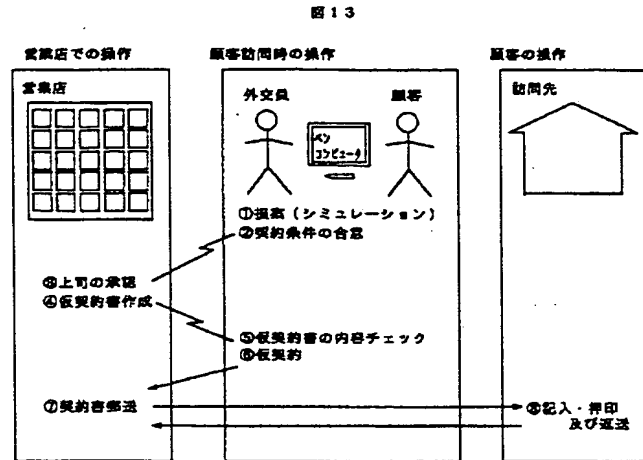
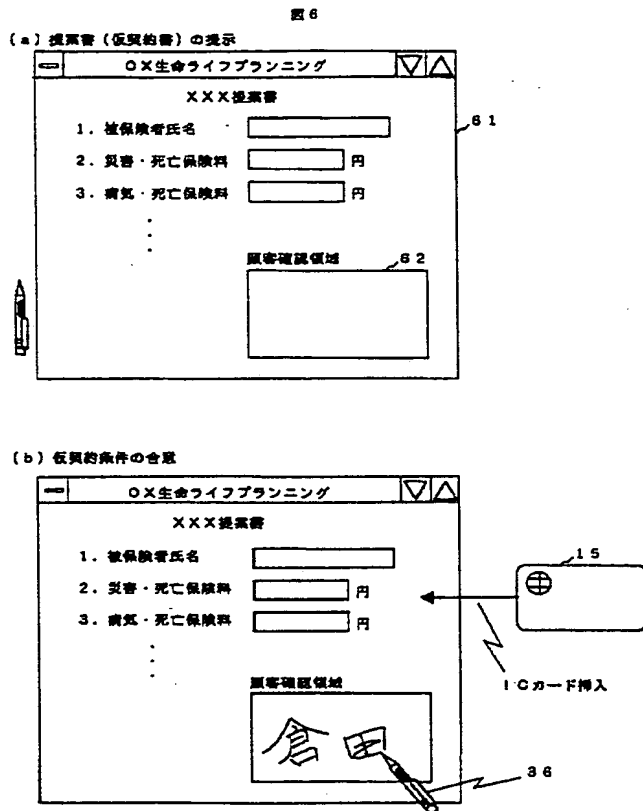
【図12】

図12



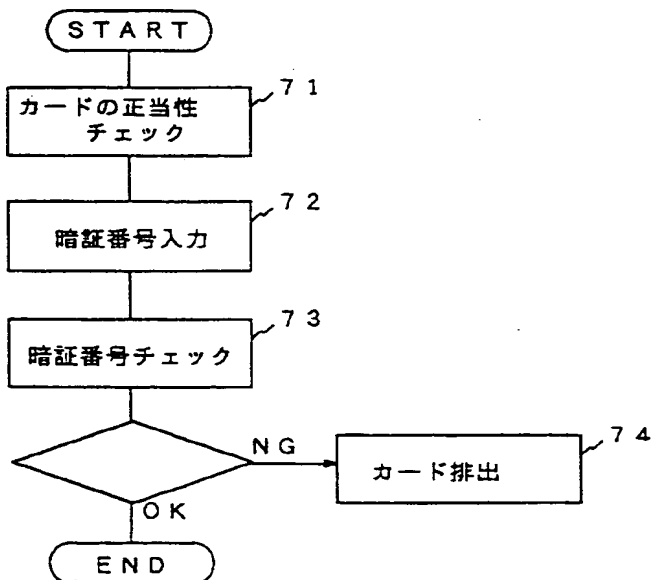
【図6】

【図13】



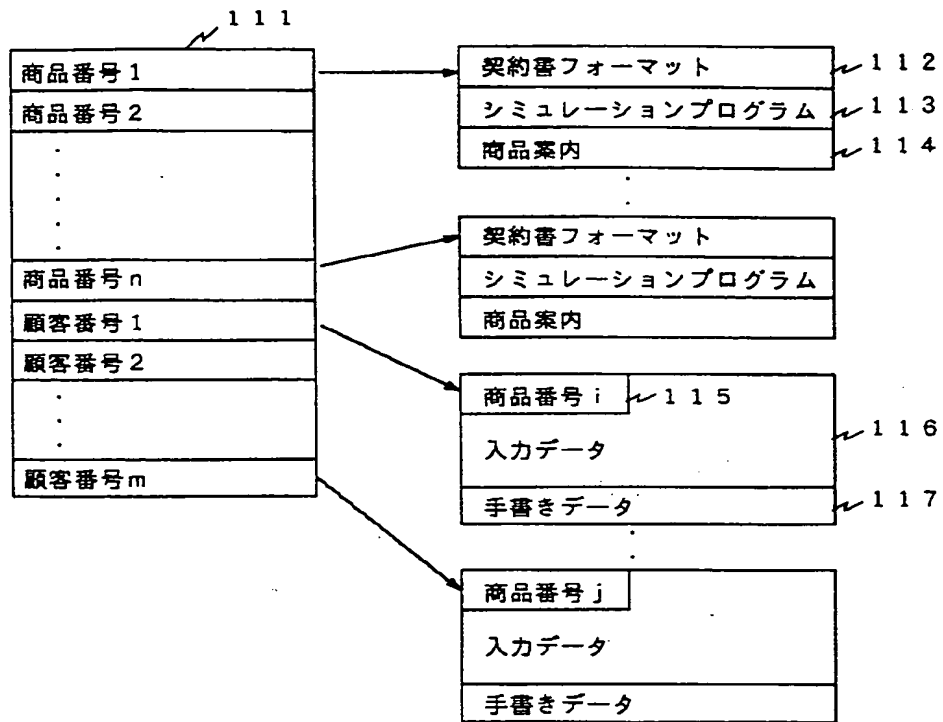
【図7】

図7



【図 11】

図 11



フロントページの続き

(72)発明者 藤井 薫晴

神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株  
 式会社日立製作所システム開発研究所内

**This Page Blank (uspto)**